

見積業者選定経過書

1 業務名	令和5年度「くらしふとカンファレンス（仮）」企画運営業務
2 応募者数	2者
3 評価会議の構成 座長 構成員	座長：長野県環境部環境政策課長 構成員：長野県環境部環境政策課企画幹 長野県環境部環境政策課企画幹共創プラットフォーム 担当 長野県環境部環境政策課職員
4 選定基準	別紙のとおり
5 選定結果 選定された者 集計結果	株式会社日本旅行 順位点：16点/20点（評価委員合計） 評価点：67点/100点（評価委員平均） 5名中3名が1位とした。
6 企画提案を求める具体的 内容	(1) 業務内容 ア 企画・コンセプト イ カンファレンス内容の企画 ウ 広報戦略・発信 エ 運営及び参加者のゼロカーボンシフト (2) 業務の経験 (3) 実施体制及びスケジュール (4) 業務に要する経費及びその内訳
7 企画提案で評価された点	・ 県の施策を理解している ・ 運営等におけるゼロカーボンシフトの取組案が優れている
8 総合的判断	株式会社日本旅行を、最も優れた提案を行った者として見積業者 に選定する。

令和5年度「くらしふとカンファレンス（仮）」企画運営業務プロポーザル審査要領

1 目的

令和5年度「くらしふとカンファレンス（仮）」企画運営業務実施公告に基づいて応募のあった提案を審査し、同事業を委託する候補者（以下、「委託候補者」という。）を選定することについて、必要な事項を定める。

2 審査委員会の設置

委託候補者を選定するために、「くらしふとカンファレンス（仮）」運営業務プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）を設置する。

3 審査委員会の構成等

(1) 委員について

下表に掲げる者とし、委員長は長野県環境部環境政策課長が当たり、副委員長は長野県環境部環境政策課企画幹が当たる。副委員長は、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

委員長	長野県環境部環境政策課長
副委員長	長野県環境部環境政策課 企画幹
委員	長野県環境部環境政策課 企画幹共創プラットフォーム担当
	長野県環境部環境政策課 係長
	長野県環境部環境政策課 職員

(2) 委員の任務

委員は、委託候補者の選定に関することを審議する。

(3) 会議について

ア 審査委員会は、委員長が召集し、委員長が議長を務める。

イ 審査委員会は委員の過半数の出席によって成立する。（出席できない委員は、代理者を指定し、出席させることができるものとする。）

ウ 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

4 審査方法等

(1) 審査対象 企画提案書及び添付書類（プレゼンテーションを参考とする。）

(2) 審査基準 別添「令和5年度くらしふとカンファレンス（仮）企画運営業務プロポーザル審査基準」

（以下、「審査基準」という。）のとおり

(3) 採点方法

ア 評価点

委員は、審査基準の項目ごとにA～Eの5段階による評価を行う。

A：非常に優れている B：優れている C：標準 D：やや劣る E：劣る

評価点は、各項目の配点に計数（1.0(A)、0.8(B)、0.6(C)、0.4(D)、0.2(E)）を乗じて合算したものとする。（1提案者当たり100点満点）

イ 順位付け

各委員は、評価点が高い提案者から順に、1位から3位までの順位付けを行う。同点がある場合は、各委員の判断により順位付けを行う。

5 委託候補者の決定

各委員が行った順位付けに対し、1位は4点、2位は2点、3位は1点の順位点を付け、各委員の

順位点を総計して、最も得点の高い提案者を委託候補者として選定する。なお、順位点の総計が最も高い者が複数いた場合には、その中から各委員の意見を踏まえた上で、委員長の判断により委託候補者を選定する。ただし、次のいずれかに該当する者は、順位点の如何に関わらず、委託候補者として選定しないものとする。

- ・全委員の評価点の平均が 60 点に満たない者
- ・配点 25 点の審査項目において、全委員の平均が 15 点に満たない項目が 1 つ以上ある者
- ・配点 15 点の審査項目において、全委員の平均が 9 点に満たない項目が 1 つ以上ある者
- ・配点 10 点の審査項目において、全委員の平均が 6 点に満たない項目が 1 つ以上ある者
- ・配点 5 点の審査項目において、全委員の平均が 3 点に満たない項目が 1 つ以上ある者

(別添)

令和5年度「くらしふとカンファレンス(仮)」企画運營業務プロポーザル審査基準

審査項目		審査内容	配点		
提案内容	企画コンセプト	<ul style="list-style-type: none">・企画コンセプトが本事業の目的に照らして的確であり、目的の達成に効果的であるか。・カンファレンスの企画全体、運営自体がゼロカーボンシフトに向けた新しいモデルとなりうるか。・カンファレンス全体に、インプットだけでなく、地域を面的に使うなど五感で新しいライフスタイルを体感できる工夫がなされているか。	15	80	
	カンファレンス内容の企画	キーノートセッション及び分科会	<ul style="list-style-type: none">・テーマの選定が企画コンセプトと合致し、講師やファシリテーターが民間・行政・学生など多様なステークホルダーで構成されているか。・対話をベースとして、実践者の課題感やニーズ、本音を引き出し、参加者からもシーズを引き出せる場であるか。		25
		交流会	<ul style="list-style-type: none">・参加者間の対話と共創を生み出す工夫がされているか。・その場限りではなく、カンファレンス後のアクションコミュニティをつくっていく意識した工夫がなされているか。		10
	広報戦略・発信	<ul style="list-style-type: none">・多様なステークホルダーにとって魅力的な広報になっているか。・カンファレンスへの誘客ではなく、くらしふとの認知度向上や参加登録者増加につながる工夫がなされているか。	15		
	運営及び参加者のゼロカーボンシフト	<ul style="list-style-type: none">・開催にあたり排出される温室効果ガスの相殺等会全体のゼロカーボンシフトに向けた工夫がなされているか。・参加者がカンファレンス参加によって、行動変容につながるヒントを得たり、きっかけとなる体験ができる工夫がなされているか。	15		
	業務の経験	類似業務の履行実績などから、各業務の運営を円滑に行うことが期待できるか。	5		
	業務の実施体制及びスケジュール	運営スタッフの配置や業務管理の体制が適切であるか。 事業計画が明確であり、確実な実施が可能であるか。	5		10
業務に要する経費	費用対効果	業務内容に対して必要な経費が適切に見積もられ、事業内容や効果等から見て適切な範囲内であるとともに、予定額の範囲内であるか。	10	10	
合 計			100		